



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東・札
 コード番号 2270 URL <https://www.meg-snow.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 雅俊
 問合せ先責任者(役職名) 広報IR部長 (氏名) 左柄 正典 (TEL) 03-3226-2124
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	289,064	0.8	7,348	△39.8	6,883	△48.2	2,301	△73.2
2022年3月期第2四半期	286,904	—	12,210	10.1	13,277	10.8	8,575	19.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,312百万円(△84.3%) 2022年3月期第2四半期 8,355百万円(△12.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	34.08	—
2022年3月期第2四半期	126.99	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しております。このため、当該基準を適用する前の2021年3月期第2四半期の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。なお、2021年3月期から当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率は1.4%増であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	403,787	206,452	50.4	3,011.14
2022年3月期	401,890	209,528	51.5	3,061.75

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 203,386百万円 2022年3月期 206,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	60.00	60.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	575,000	3.0	14,000	△22.5	15,500	△22.5	9,300	△22.9	137.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	70,751,855株	2022年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,207,254株	2022年3月期	3,216,075株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	67,538,595株	2022年3月期2Q	67,533,293株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（四半期決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

当社は2022年11月10日（木）にアナリスト、機関投資家向けの説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する決算説明会資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	12

(補足説明資料)

2023年3月期 第2四半期決算短信 補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費に緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、ウクライナ情勢の長期化や急速な円安進行の影響などもあり、先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界においては、世界的な原材料価格やエネルギー価格等の高騰により、食品をはじめ様々な商品の値上げが続いており、消費マインドに影響を与えております。また、外食需要はコロナ禍からの回復が見られるものの、依然としてその途上にあります。

このような環境下、当社グループは「グループ中期経営計画 2022」に基づき、「4つの事業分野（乳製品事業分野、市乳事業分野、ニュートリション事業分野、飼料・種苗事業分野）における収益基盤の確立」に向けた取り組みを進めました。

この中では、機能性を軸としたヨーグルトおよびチーズなどの主力商品の戦略的拡大とプロダクトミックスの更なる改善、ニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模拡大と収益確保の両立、飼料・種苗事業分野における戦略的拡大と収益基盤の整備、ならびにグループ経営資源の活用拡大やバリューチェーンの生産性向上によるグループ総合力の強化等に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大が継続する中、従業員の感染予防に取り組み、お客様へ安全で安心して頂ける商品の安定供給に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は289,064百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は7,348百万円(前年同期比39.8%減)、経常利益は6,883百万円(前年同期比48.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,301百万円(前年同期比73.2%減)となりました。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、株式会社ベルネージュダイレクトは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間において、全国農業協同組合連合会が優先株式を普通株式へ転換したことにより、協同乳業株式会社に対する当社の持分比率が減少し関連会社に該当しなくなったため、同社を持分法適用の範囲から除外しております。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能性食品、粉ミルク等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は120,150百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は4,944百万円(前年同期比21.8%減)となりました。

(売上高の状況)

バターは家庭用バター主力品の販売拡大に積極的に取り組んだことや外食需要の回復により業務用バターの販売が増加したことなどから前年を上回りました。

油脂は市場全体の落ち込みや価格改定の影響により前年を下回りました。

チーズは、ナチュラルチーズでは、休止していた「さけるチーズ」の一部商品の販売再開などにより第2四半期の販売が好調に推移した結果、前年を上回りました。「スライスチーズ」や「6Pチーズ」などのプロセスチーズでは、食品等生活必需品の値上げ環境下における消費マインドの低下などにより前年を下回りましたが、第2四半期に入り、回復傾向にあります。

その結果、チーズ全体では前年を下回りましたが、回復傾向にあります。

機能性食品は定期購入型通販ビジネスが引き続き好調に推移したこと、積極的なマーケティング投資や健康志向の高まりにより引き続き伸長しました。

(営業利益の状況)

原材料コストの増加やオペレーションコストの増加、固定経費の増加などにより減益となりました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。売上高は122,411百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益は729百万円(前年同期比79.1%減)となりました。

(売上高の状況)

飲料は、飲料タイプとしては日本初の「骨密度を高める」機能性表示食品となる「MBPドリンク」の販売が好調に推移しましたが、食品等生活必需品の値上げ環境下における消費マインドの低下などにより牛乳を中心に前年を下回りました。

ヨーグルトは、「牧場の朝ヨーグルト」や「ナチュラル恵megumi」プレーンヨーグルトなどの販売が堅調に推移しましたが、前年度のテレビ放映による機能性ヨーグルトの増加が今年度は落ち着いたことなどにより、全体では前年を下回りました。

デザートは、新商品の「雪印コーヒープリン」や定番商品である「CREAM SWEETS」シリーズの販売が好調に推移したことなどにより、前年を上回りました。

(営業利益の状況)

原材料コストの増加やオペレーションコストの増加、販売物量の減少などにより減益となりました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売、造園事業が含まれております。売上高は27,524百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は828百万円(前年同期比43.3%減)となりました。

(売上高の状況)

配合飼料販売価格の上昇などにより当セグメント全体で前年を上回りました。

(営業利益の状況)

原材料コストの増加による粗利益の減少などにより減益となりました。

④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。

売上高は18,977百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は835百万円(前年同期比6.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

区分	2022年 3月期末	2023年 3月期 第2四半期	増減金額	主な増減理由
資 産	401,890	403,787	1,896	受取手形、売掛金及び契約資産+8,579 建物及び構築物(純額)+3,472 現金及び預金△5,815 投資有価証券△3,375
負 債	192,361	197,334	4,972	支払手形及び買掛金+5,569 電子記録債務+476 未払法人税等+282 繰延税金負債△1,538
純資産	209,528	206,452	△3,075	利益剰余金△2,150 その他有価証券評価差額金△2,032

② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

区分	2022年 3月期 第2四半期	2023年 3月期 第2四半期	増減金額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	18,642	9,189	△9,453	税金等調整前四半期純利益△8,332 未収入金の増減額△3,046 売上債権の増減額△2,249 仕入債務の増減額+3,753
投資活動による キャッシュ・フロー	△10,982	△11,013	△31	投資有価証券の取得による支出△1,250 有形及び無形固定資産の取得による支出 +1,318
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,139	△4,590	△450	配当金の支払額△1,349 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出+1,076
現金及び現金同等物の 四半期末残高	25,479	14,162	△11,316	—

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月10日の四半期決算短信にて公表した業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,991	14,175
受取手形、売掛金及び契約資産	72,297	80,876
商品及び製品	47,408	46,373
仕掛品	890	948
原材料及び貯蔵品	13,851	15,347
その他	6,009	6,061
貸倒引当金	△309	△347
流動資産合計	160,139	163,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	55,113	58,585
機械装置及び運搬具（純額）	58,973	58,346
土地	49,426	49,488
その他（純額）	15,379	14,109
有形固定資産合計	178,892	180,530
無形固定資産		
のれん	582	598
その他	2,709	2,669
無形固定資産合計	3,291	3,267
投資その他の資産		
投資有価証券	48,107	44,732
繰延税金資産	2,936	2,938
その他	8,715	9,069
貸倒引当金	△193	△187
投資その他の資産合計	59,566	56,552
固定資産合計	241,751	240,350
資産合計	401,890	403,787

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,447	59,016
電子記録債務	5,277	5,754
短期借入金	17,969	23,161
未払法人税等	2,227	2,510
賞与引当金	4,876	4,897
その他	29,336	29,817
流動負債合計	113,134	125,157
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	39,378	34,101
繰延税金負債	6,607	5,069
再評価に係る繰延税金負債	3,815	3,815
役員退職慰労引当金	14	14
退職給付に係る負債	8,826	9,001
資産除去債務	1,250	1,219
その他	9,333	8,955
固定負債合計	79,226	72,177
負債合計	192,361	197,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,027	17,027
利益剰余金	147,231	145,080
自己株式	△5,347	△5,325
株主資本合計	178,911	176,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,976	16,944
繰延ヘッジ損益	90	141
土地再評価差額金	8,571	8,571
為替換算調整勘定	326	977
退職給付に係る調整累計額	△99	△32
その他の包括利益累計額合計	27,866	26,602
非支配株主持分	2,750	3,066
純資産合計	209,528	206,452
負債純資産合計	401,890	403,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	286,904	289,064
売上原価	239,172	244,320
売上総利益	47,731	44,743
販売費及び一般管理費	35,521	37,395
営業利益	12,210	7,348
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	401	513
持分法による投資利益	646	-
その他	487	582
営業外収益合計	1,538	1,097
営業外費用		
支払利息	206	169
持分法による投資損失	-	1,149
その他	264	242
営業外費用合計	471	1,561
経常利益	13,277	6,883
特別利益		
固定資産売却益	2	1
国庫補助金	-	25
受取保険金	-	17
特別利益合計	2	43
特別損失		
固定資産売却損	24	0
固定資産除却損	734	574
減損損失	170	66
火災損失	-	2,239
その他	8	36
特別損失合計	937	2,917
税金等調整前四半期純利益	12,342	4,010
法人税等	3,668	1,647
四半期純利益	8,674	2,363
非支配株主に帰属する四半期純利益	98	61
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,575	2,301

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	8,674	2,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△820	△1,886
繰延ヘッジ損益	16	51
為替換算調整勘定	301	709
退職給付に係る調整額	188	78
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△3
その他の包括利益合計	△319	△1,050
四半期包括利益	8,355	1,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,234	1,191
非支配株主に係る四半期包括利益	120	121

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,342	4,010
減価償却費	8,493	8,533
減損損失	170	66
持分法による投資損益 (△は益)	△646	1,149
のれん償却額	50	53
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△92	16
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△377	△410
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	302	159
固定資産除売却損益 (△は益)	755	573
受取利息及び受取配当金	△404	△514
支払利息	206	169
未収入金の増減額 (△は増加)	3,657	610
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,802	△8,052
棚卸資産の増減額 (△は増加)	45	△154
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,099	5,852
その他	869	△1,276
小計	21,659	10,787
利息及び配当金の受取額	478	571
利息の支払額	△205	△169
法人税等の支払額	△3,289	△2,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,642	9,189
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	34	3
有形及び無形固定資産の取得による支出	△11,141	△9,823
有形及び無形固定資産の売却による収入	10	17
投資有価証券の取得による支出	△7	△1,258
投資有価証券の売却による収入	0	-
その他	123	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,982	△11,013
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	334	194
長期借入れによる収入	20	-
長期借入金の返済による支出	△311	△310
自己株式の取得による支出	△3	△1
配当金の支払額	△2,703	△4,053
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,076	-
その他	△396	△417
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,139	△4,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	129	271
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,649	△6,143
現金及び現金同等物の期首残高	21,829	19,979
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	326
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,479	14,162

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

2022年6月30日に発生した持分法適用関連会社であるSBSフレック株式会社阿見物流センターの火災により、当第2四半期連結累計期間において、当該センターに保管しておりました当社棚卸資産の損失額等を合理的に見積り、火災損失として特別損失に計上しております。

また、SBSフレック株式会社で発生が見込まれる固定資産等の損失額1,511百万円が持分法による投資損失に含まれております。

上記については現時点で判明している状況に基づいて算出したものであり、今後変動する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	117,806	126,344	24,741	268,892	18,011	286,904	—	286,904
外部顧客への売上高	117,806	126,344	24,741	268,892	18,011	286,904	—	286,904
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,382	62	475	6,919	6,216	13,136	△13,136	—
計	124,189	126,406	25,216	275,812	24,227	300,040	△13,136	286,904
セグメント利益	6,326	3,489	1,460	11,276	895	12,172	38	12,210

(注) 1. 報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。

3. セグメント利益の調整額38百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	120,150	122,411	27,524	270,086	18,977	289,064	—	289,064
外部顧客への売上高	120,150	122,411	27,524	270,086	18,977	289,064	—	289,064
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,167	54	661	7,883	6,736	14,620	△14,620	—
計	127,317	122,465	28,186	277,969	25,714	303,684	△14,620	289,064
セグメント利益	4,944	729	828	6,501	835	7,337	11	7,348

(注) 1. 報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。

3. セグメント利益の調整額11百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。